

特別企画：2023年冬シーズン「クリスマスケーキ」価格調査

今年の Xmas ケーキ、平均 4468 円

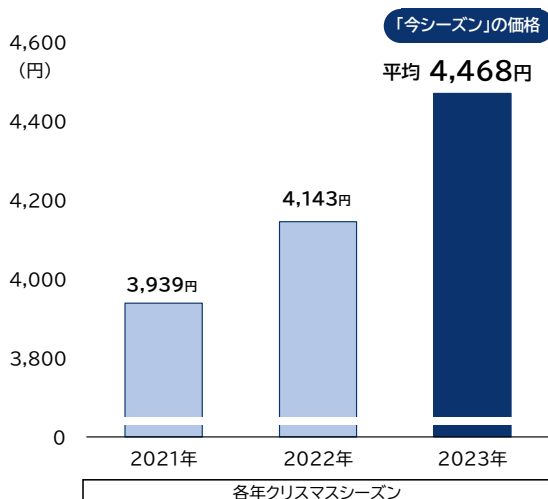
「値上げ幅」前年より拡大 2年間で 500 円超値上げ

4年ぶりの「平常」クリスマス 消費者の購買意欲アップに期待も「値上げ疲れ」懸念

クリスマスケーキの平均価格は前年から 300 円超アップし、前年を上回る値上げとなった。2022 年冬シーズンは原材料価格の動向が見通しづらく、値上げ幅を小幅に抑えたケースが多かった。ただ、今シーズンは「例年通りの価格では利益が見込めない」といった声も聞かれ、ほぼ全ての原材料で価格が高騰したことも、大幅な値上げを後押しした。加えて、4年ぶりにコロナ禍の制限がないクリスマスを迎え、消費者の財布が緩むことを期待した「値付け」も多いとみられる。

一方で、今年 1 年間で値上げされた食料品はバブル崩壊以降で最大級の 3 万品目超えとなり、家計では月 3700 円分の食費「節約」に動くなど、値上げへの抵抗感は昨シーズンに比べて強まっている。足元では他の食料品同様、クリスマスケーキでも高額品の買い控えや低価格品への人気集中といった「値上げ疲れ」の兆候も一部で聞かれ、大幅な値上げが消費者に受け入れられない可能性もあり、今シーズンにおけるケーキ商戦の成り行きが注目される。

クリスマスケーキ 平均価格推移



※ 総務省「小売物価統計調査」、店頭販売・市場卸売価格などを基に帝国データバンク推計

- [注 1] 全国の大手コンビニエンスストア・百貨店・スーパー・洋菓子店などのうち、前年と価格が比較可能なオリジナルケーキブランドを対象に調査を行った。比較対象は 100 社・ブランド。標準的な苺ショートケーキ 5 号サイズ（ホール）、または目玉ケーキの税抜価格
- [注 2] 前年と比較できないケーキ（企業）があるため、一部 22 年時点と調査対象が変更となっている。なお、入れ替え対象のケーキについては 21 年に遡って価格データを再集計しており、データの連続性には問題がない

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

今年のクリスマスケーキ、平均 4468 円 前年から 325 円アップ、2 年で 1 割超の「大幅値上げ」

今年のクリスマスケーキは「値上げの波」をより実感することになりそうだ。全国の大手コンビニエンスストアや百貨店、スーパー、著名な洋菓子店など計 100 社で販売されるクリスマスケーキの価格（ホール型 5 号、4~6 人向けサイズ）を調査した結果、2023 年冬シーズンの平均価格は 4468 円（税抜）だった。1 年前（22 年冬、「昨シーズン」）の 4143 円に比べて 325 円、率にして 7.8% の値上がりとなった。本格的な値上げラッシュが始まる前の 21 年冬シーズンに比べると、529 円・13.4% の値上がりとなり、クリスマスケーキは 2 年間で 1 割超の大幅値上げとなった。

前年から価格が上昇したケーキをみると、値上げ幅として最も多いのは「500 円以上」と「300 円未満」で、それぞれ 20 社に上った。500 円以上の値上げは百貨店や洋菓子店において主力となる 4000~5000 円台の中高価格帯ケーキで、300 円未満の値上げは量販店やスーパーなどで販売される 3000 円台のケーキに多くみられた。以下「400 円未満」（18 社）、「200 円未満」（14 社）、「500 円未満」（9 社）と続き、調査対象の 100 社のケーキのうち、昨シーズンから前年から価格が上昇したケーキは 81 社に上った。ただ、500 円以上値上げした企業は昨シーズンに比べて倍増した一方、値上げ幅を「200 円未満」に抑えた企業は 14 社・10 社減となるなど、大幅値上げを決断したクリスマスケーキが目立った。

2023 年のクリスマスケーキは、昨シーズンに続き原材料価格の高騰による影響を大きく受けた。ケーキの原材料価格（店頭販売ベース）をみると、スポンジの原料となる小麦粉（強力粉）の価格は比較的落ち着いた水準で推移した。しかし、春先の「エッグショック」以降、価格が高止まりする鶏卵、砂糖や牛乳など、主要原材料の多くが足元で前年比 1.2 倍前後の値上げとなったほか、猛暑による植栽遅れといった影響を受けたイチゴは最大で 1.5 倍超に高騰している。さらに、12 月には大手乳業メーカーでバターが一斉値上げとなり、一層のコストアップが見込まれる。食材以外にも、テイクアウト用の化粧箱や食品フィルムなどの資材費、電気・ガス代、人件費も高騰しており、昨年よりも原材料価格高騰分を上乗せして値付けするケーキが多い要因となっている。

クリスマスケーキの価格推移

	平均価格	値上げ額	上昇率
2021年	3,939円	—	—
2022年	4,143円	+204円	+5.2%
2023年 (今シーズン)	4,468円	前年比 +325円 +7.8%	2年前(2021年)比 +529円 +13.4%

値上げ幅 2022・23 年 比較

